

地域遺産トラスト事業

北海道遺産協議会の事務局運営、関連市町村・企業等の連携等を通して、持続可能な地域づくりのために、地域に関わるさまざまな主体がパートナーシップで活動をすすめられるよう支援を行っています。

北海道遺産協議会事務局の運営

北海道遺産とは、次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選定されたもの。北海道遺産構想を推進する北海道遺産協議会の事務局の運営を行っています。

●企業との連携による地域活動支援（H23年度～継続）

「ほっかいどう遺産 WAON」（イオン北海道株式会社、マックスバリュ北海道株式会社）、「お茶で北海道を美しく」（株式会社伊藤園）から頂いているご寄付をもとに、北海道遺産の所在地域での保全活用に関する様々な取組みへの支援を行っています。

●「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」

（H19年度～継続）

北海道各地の宝物を掘り起こし、発信し、活用することで地域やまちの魅力を創造していくという北海道遺産構想の趣旨を全道へ波及させるためのプロジェクト。これまでに6回の審査を実施し、登録された247件の「ムラの宝物」と、各地の地域資源発掘事例10件をホームページ等を通じて道内外へ発信しています。



地域の文化環境保全活動

市民・行政・企業のパートナーシップによって地域の文化・環境を保全する活動を関係各所と連携して行っています。

●沙流川総合開発事業

平取ダム地域文化・環境保全対策検討業務（H18年度～継続）

平取ダム建設にともない、アイヌの文化的所産に与える影響の軽減および保全対策の具体化に向けた検討を行うため、地域住民と行政等のパートナーシップを軸として、その具体化に向けた地元関係者との調整や検討を行い、学識者等で構成される「平取ダム地域文化保全対策検討会」の運営及び資料作成を行うとともに、保全対策協議内容に資する検討を行い、地元アイヌ民族関係者等の意見を集約して具体策案の取りまとめをおこなっています。



●平取町文化的景観自然的環境等調査業務（H24年度～継続）

平成19年に「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」として国の重要文化的景観に指定された平取町の文化的景観について、現在追加の選定に向けて、現在の景観を構成している要素の抽出、その景観が作られてきた歴史的経緯等について幅広い調査を行っています。



●平取町文化的景観普及・啓発業務（H24年度～継続）

平取町の文化的景観について知ってもらうために、札幌等からのツアーの実施、地元の方が文化的景観について解説を行うためのガイド養成講座等の開催等により、道内外への文化的景観の普及啓発活動を行っています。



●沙流ユーカラ街道活性化支援（H24年度～継続）

国道237号線（愛称：沙流ユーカラ街道）沿線の観光資源を利用して、道央圏都市住民との交流の促進を図る取組みの支援。旅行会社と協力して札幌からのシャトルバスによる体験ツアーを開催。また、関係団体による「沙流ユーカラ街道活性化協議会」の運営のサポートを行っています。

